

■ほんもの体験観光のまち推進事業補助金
【商工費】(継続) 250万円
(商工観光部 観光振興課)

体験交流型観光を推進するため、市内製造事業者が行う施設整備(見学ルートや体験事業の充実など)に対して補助金を交付します。

(補助率:対象経費の2分の1以内、補助限度額:250万円)



ほんもの体験観光を推進

■観光の魅力づくり推進事業補助金
【商工費】(継続) 305万円
(商工観光部 観光振興課)

観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、豊富な観光資源を活用した個性ある観光地づくりに寄与する事業に対して補助金を交付します。

今年度は、浅茂川浦島温泉および木津温泉の泉源改修を支援する予定です。



入湯税を活用して観光の魅力づくりを推進

観光インフラ整備等促進実行調整費基金
観光インフラ整備などへの活用を目的に、前年度の入湯税収入額相当額を積み立てた基金のことです。

6 京丹後ブランドの販売戦略

京丹後ブランドの発信に向けて

■ふるさと応援団運営事業
【総務費】(継続) 147万円
(企画総務部 企画政策課)

京丹後市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と本市への移住の促進を図るため、「京丹後ふるさと応援団」を組織して、地域の発展に向けた応援活動をしていただける人々の輪を全国に広げています。また、団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市をPRする特製名刺を配付するなど全国各地で京丹後市の魅力発信を行っています。

今年度は、団員同士の連携・交流を深めるため、「団員交流会」を予定しています。

- 入団資格 京丹後市以外に在住のかた
- 入 団 費 年 1,000 円
- 特 典 会報誌などの送付、市内協賛店での優待特典など
- 団 員 数 444 人 (平成 23 年 3 月末現在)



特製名刺と会報誌



昨年度、京都市内で開催した「第3回 京丹後ふるさと応援団交流会」の様子

高付加価値化をめざした6次産業の確立

■6次産業支援事業補助金
【農林水産業費】(新規) 60万円
(農林水産環境部 農政課)

丹後らしさや地域特性を付加した物・サービスを消費者に提供するために、農家などを対象として、6次産業化(農林水産物をベースとした加工、販売、サービス提供などへの事業展開)をめざす取り組みを支援します。(補助率:3分の2、補助限度額:30万円)



京丹後市で栽培した生姜を佃煮にした加工品

■京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金
【商工費】(継続) 380万円
(商工観光部 産業雇用総合振興課)

京都市上京区の堀川商店街で開設している丹後地域の特産品ショップ「ホット丹後」の運営を支援します。

ここでは、地場産品の紹介や販売だけでなく、丹後の魅力のPRや誘客活動にも取り組んでおり、都市との交流に努めています。また、消費動向やニーズ調査も行うことで、生産者に情報を提供し商品の一層の高品質化もめざしています。

今年度は、これまでの成果を踏まえ、他市町とも連携し「ホット丹後」を起点とした丹後広域での農商工連携や6次産業の推進などによる販路拡大の取り組みも支援します。



特産品ショップ ホット丹後

II 暮らしの中でのいのちが輝く
環境循環都市

環境先進都市推進プロジェクト構想

1 自然環境の保全と創造

新火葬場の建設をすすめます

■火葬場建設計画策定事業
【衛生費】(継続) 300万円
(市民部 市民課)

竹野川斎場、網野火葬場、久美浜火葬場の3つの火葬場は、いずれも老朽化が進んでいることから、新たな火葬場の建設を計画しています。

平成20年度は「基本構想」を作成して新しい火葬場の建設に必要な条件の整理を行い、平成21年度は「基本方針」を作成して新たに火葬場を1か所建設すること決定しています。

今年度は、新火葬場建設に係る基本計画を策定します。



網野火葬場

2 新しいエネルギーの導入と活用

環境に配慮したエネルギーを活用します

■地球温暖化防止対策推進事業
【衛生費】(継続) 191万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

地球温暖化防止のためには、自然エネルギーの利用や石油・石炭などに頼らない燃料を使うことが必要です。本市の地理的な特徴を活かして、風の力を電気に変える小型風力発電システムの普及や、山の木を有効に活用できる薪ストーブ・ペレットストーブの普及を図るための支援を行います。また、公用車で試験的にバイオディーゼル燃料を利用して環境意識の普及・啓発を図ります。

(補助率:小型風力発電システム3分の1、薪ストーブ・ペレットストーブ12分の1)



薪ストーブ

バイオディーゼル燃料

生物由来油からつくられるディーゼルエンジン用燃料のことで、化石燃料由来の燃料に比べて大気中の二酸化炭素を増加させない特徴があります。排気ガス中の汚染物質も少ないため、クリーンな燃料として注目されています。